

月刊 社会保険 9

2018 VOL.818

一般社団法人
全国社会保険協会連合会

介護医療院のロゴマークを選定しました。

厚生労働省からのお知らせ

平成30年8月から現役並みの所得のある方は、
介護サービスを利用したときの負担割合が3割になりました。

協会けんぽの平成29年度決算見込み(医療分)について<協会会計と国の特別会計との合算ベース>

平成29年度年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の運用状況(概要)

腎疾患対策検討会報告書～腎疾患対策の更なる推進を目指して～(概要)

児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策(概要)

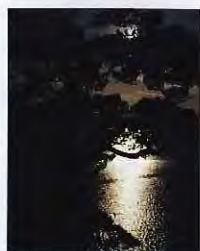
乳がん早期発見、治療継続に職場の力を

介護医療院のロゴマークを選定しました。	3
厚生労働省からのお知らせ	
平成30年8月から現役並みの所得のある方は、 介護サービスを利用したときの負担割合が3割になりました。	4
協会けんぽの平成29年度決算見込み（医療分）について〈協会会計と国の特別会計との合算ベース〉	6
平成29年度年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の運用状況（概要）	10
腎疾患対策検討会報告書～腎疾患対策の更なる推進を目指して～（概要）	12
児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策（概要）	14
年金・健康保険委員活動報告 活発な支部委員会活動	
株式会社IMW（イルカマリンワールド）代表取締役 <small>アイエムダブルユー</small> 田口 京重 <small>たぐち きょうじゅう</small>	16
乳がん早期発見、治療継続に職場の力を	
認定NPO法人乳房健康研究会常務理事 高木 富美子 <small>たかぎ ともみこ</small>	18
書評 <small>もり た ひろゆき</small> 森田 洋之 著『医療経済の嘘』	20
サステイナブル	
持続可能な社会の扉を開けた人たち	
第2回（前編） サステイナビリティという言葉の原点を探ると見えてくるものがある	
アキナス大学経済学部名誉教授 山崎 正人 <small>やまざき まさと</small> 株式会社朝日エル会長 岡山 慶子 <small>おかやま けいこ</small>	21
自分が変われば会社も変わる!? ビジネスチャンスを広げる行動変容	
第5回 刺激欲求のポジティブ・ネガティブ効果	
埼玉学園大学教授 古澤 照幸 <small>ふるさわ てるゆき</small>	24
さまざまな視点から考える認知症	
第5回 「認知症でも母らしく」の実現をめざして—認知症介護・家族の視点—	
NPO法人ハート・リング運動専務理事 早田 雅美 <small>はやた まさみ</small>	26
認知症を予防する 第5回 認知症を予防する食材	
お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二 <small>しらすわ たくじ</small>	28
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/介護保険編 34/労働保険編 36	
特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ <small>すずき ひろみ</small>	

表紙写真・竹内敏信/イラストレーション・水森亜土/デザイン・STデザイン、(有)フェイム/編集協力・(株)アップルハウス/印刷・(株)エイエヌオフセット

表紙のことば——竹内敏信 「光の響」「樹の風景」

宮城県石巻市(旧牡鹿町)



近年、9月といえば残暑になる傾向がある。

本来であれば少しずつ涼しくなり、風景は秋への準備期間となる。日本の歳時記でも9月は仲秋。秋のなかばと意味で表記されている。

今年はどうなるか、ある意味楽しみでもある。なぜなら、どういう気候になったとしても、そのときにしかないよさが必ずある。それをどう見るか、これはまさにドキュメンタリーである。

この写真は9月の中旬。松のシルエットで古風な風景にも見えてくる。松は1年中緑の葉があり、季節感を表現するのは実は難しい。このときは、光がキラキラと水面を輝かせている状況で、夏の終わりを感ずることができた。

© 本誌制作にあたっては、国等からの補助金等を一切受けておりません。

活発な支部委員会活動



株式会社IMW(イルカマリンワールド)代表取締役
たぐち きよしげ
田口 京重

今をときめく380年前、天草四郎が3万7000人のキリスト教徒を率いて幕府軍と戦った天草・島原の乱、この舞台となった天草の地に熊本県社会保険委員会天草支部があります。

天草支部のある天草は、天草市・上天草市・苓北町からなり、面積は約800km²・人口11万人を数えています。また、天草諸島は雲仙天草国立公園を形成し120余りの島々からなり、特に下島は国内では5番目に大きい島といわれています。

次に天草支部の活動状況を報告します。

特色は、本渡年金事務所・協会けんぽ熊本・社会保険協会との連携を図りながら、社会保険委員(年金委員・健康保険委員)の資質の向上と蓄積に務めています。特に健康づくり事業として位置づけているミニバレーボール大会には、社会保険委員委嘱事業所・年金事務所・協会けんぽ・委員会役員チームも含め約200名強の参加者のもとに一汗運動も展開し、親睦も深めている現状です。

さらに天草支部の独自事業としてシニアライフセミナー事業を展開しています。これは夫婦・委員事業所の総務および勤労関係従事者を対象にして、充実した老後を過ごすために

という題材(退職後の年金・健康づくり)に取り組んでいて、とても高い評価をいただいている実績があります。また、支部総会の開催は、本渡年金事務所の算定基礎届等の事務説明にあわせて実施し、出席率の向上と委員皆様の意見の集約にも務めています。

●熊本県社会保険委員会の現状

熊本県は九州地方の中央に位置する県で、県庁所在地は熊本市、令制国の肥後国にあたります。

県央・県北・県南・天草の地域に分かれ、面積は7405km²、人口は176万人と減少傾向がつづいています。有明海・不知火海・東シナ海に面して日本第2位のカルデラを持つ阿蘇山があります。慶長12(1607)年に茶臼山と呼ばれた丘陵地に築城の名手加藤清正が当時の最先端技術と労力を投じて築城した名城熊本城は、400年にわたり日本のさまざまな歴史の重要な舞台ともなりました。熊本地震により被害を受けた熊本城の復元が復興のシンボルともなっています。

その熊本県社会保険委員会は鹿岡会長のもとに現在本部、熊本東支部、熊本西支部、人吉支部、八代・水俣・芦北支部、玉名支部、天草支部で構



天草教会群

成されています。本部事業および各支部の独自事業と本部により一括で事業計画・収支予算と管理運営を実施し、閉会中の熊本東支部を昨年復活させることができました。

委員会本部では、東支部の事業費の援助をはじめ支部役員選任にいたるまで年金事務所・協会けんぽ・社会保険協会との連携により実現を図り、社会保険庁の解体時に生じた問題を解決しました。

また、私は熊本県社会保険委員会の推薦により、協会けんぽ熊本の評議会のメンバーとなりました。そこで熊本県の健康保険料率の設定・医療費の削減・健診データの集約等々の国・県レベルの現状と課題に触れることができました。ここでの2期

4年という評議員としての経験はなものにもかえることのできない貴重な体験となっています。

●50回の記念大会を終えて

南九州4県社会保険委員会連合会連絡会議の開催県として、熊本県社会保険委員会が主体となり、その大会を初めて天草市において挙行することができました。

南九州4県委員会の発足は古く、昨年(50年)の記念大会になり、半世紀を超えて脈々と受け継がれている社会保険委員の諸先輩方の弛まぬ努力とその偉業に只々感謝の念で一杯に成りました。

4県委員会は、南九州4県(宮崎



50回記念大会

県・熊本県・鹿児島県・沖縄県)で毎年持ち回りにより実施しています。この大会では、各連合会会長より各県の活動報告ならびに提案事項等が報告審議され、県を越えての意見集約や連携が図られています。特に、ここ数年は社会保険委員の委嘱の拡大について、各県の年金事務所・協会けんぽ・社会保険協会との連絡強化を議論しました。

この連絡会議は、親睦会も盛大に執り行われ異業種の集まりゆえに新しい発見も多く、とても有意義な会であり、もちろん、今回は「牛深ハイヤ」の拍子にあわせて夜遅くまで懇親できたことも今では私たちの宝物となっています。

●野生のイルカに魅せられて

天草には約200頭もの野生のミナミハンドウイルカが生息しています。これは世界的にもめずらしくて近年アニマルセラピー効果が注目を浴びる中、イルカとの遭遇率も高く通年出港が可能であり、年間10万人の観光客が天草を訪れるようになりました。私はこの日本の宝島、天草の五和町でイルカウォッチング・遊覧船・食事・物販の事業を展開しています。

また、去る6月30日にユネスコ(国



(上)イルカウォッチング、(下)夕陽とイルカ



株式会社IMW(イルカマリンワールド)